金正恩時代の平壌



朝鮮民主主義人民共和国・外国文出版社
チュチェ111(2022)

金正恩時代の平壌

朝鮮民主主義人民共和国・外国文出版社
チュチェ111（2022）

はしがき

5000余年の悠久の歴史と燦然たる文化を誇る朝鮮の首都平壌（ピョンヤン）は今日、金正恩（キムジョンウン）時代を迎えて一段と輝かしい変貌を遂げている。

朝鮮人民により開けた明るい生活をと志す朝鮮労働党の一貫した政策と正しい指導を得て、人民の念願する理想的な住宅街や文化・情操生活の場その他の建造物やサービス施設が次々に立ち上げられて、市民たちにより大きな喜びをもたらしている。

本書には、この10年の間に平壌速度による発展相を重点的に要約して紹介されている。

目　次





1.
新しい市街

朝鮮には、10年が経てば山河が変わるということわざがある。

ところがこの10年間、平壌市ではその10年を何倍か重ねても及びもつかぬほどの膨大な建設がなされ、幾つもの大市街が新たに姿を現した。

貧相な旧市街を残らず取り払って、新しい時代の要請に見合った近代的な様相を持つ市街に様変わりした倉田（チャンジョン）通り、朝鮮労働党の科学重視政策が反映された銀河（ウンハ）科学者通り、教員や科学技術研究者用の未来（ミレ）科学者通り、社会主義強国の黎明を呼び寄せるという意味のこもる黎明（リョミョン）通りが立派に立ち上げられた。





倉田通り

この通りが現れるまでの万寿台(マンスデ)地区には、あまり高くない貧相なアパートや公共建築が群れ集まっていた。

朝鮮労働党の発意により、政府は社会主義朝鮮の建国者金日成(キムイルソン)主席の生誕100周年に当たる2012年に万寿台地区に新しい市街を設けることを決定し、その1年前から倉田地区の住宅や公共建築をすべて取り払い、新しい住宅街の建設を開始した。

こうして二十数日の間に古い建物はすべて壊され、そのわずか1年後には新しい市街が建設された。

市街の造形化、芸術化、公園化が高いレベルでなされ、超高層マンション、デパート、レストラン、商店その他の諸サービス施設からなる倉田通りは、平壌内でも異彩を放っている。

倉田通りは、数十ヘクタールもの広い地域に、流線形、円筒形、角柱形などさまざまの形態の超高層・高層マンション群に託児所、幼稚園、学校、保健医療機関、商業サービス網、便益厚生施設などが立派に整った大市街である。

倉田通りの建設後幾ばくもなく、金正恩総書記は、教育者の家庭、労働者の家庭、新婚夫婦の家庭を訪れて、彼らの新居入りを祝った。



銀河科学者通り

閑寂な平地帯であった平壌市龍城(リョンソン)区域の龍宮(リョングン)地区に7カ月間という短期間に新しい街が建設された。

2013年9月、完成を間近にした科学者住宅地区を視察した金正恩総書記は、住宅や託児所、幼稚園、総合商店などを見て歩き、その後当地区を「銀河科学者通り」と命名した。

総敷地面積28ヘクタールの銀河科学者通りは、1000余世帯分の住宅を持つ21棟のアパートをはじめ学校、病院、託児所、幼稚園をはじめとする公共建築、各種のサービス施設、広々と伸びた環状道路、アパートとアパートの間に造成された16もの公園などからなっている。

部屋が3〜5室の住宅には、居間、老人部屋、夫婦部屋、子供





部屋、書斎などがあり、清潔な台所や広い食事室なども備わっている。

戸外の広い公園は、ローラースケート場と各種の遊戯施設を具備しているので、スポーツや運動を楽しみ、またゆったりと休息の取れる憩いの場としても利用できる多機能・多目的公園として喜ばれている。

ここ科学者通りには商店や各種の便益サービス施設もあって、住人は生活上不便な思いをすることなく暮らしている。

金正恩総書記は、7カ月の建設期間に3度も工事現場を現地指導している。



未来科学者通り

2015年2月某日、大同江(テドン)の上空を1機の飛行機が低空飛行していた。その辺りにいた人たちは、なぜあんなに低く飛んでいるのだろうかと、思い思いに憶測していた。

その2日後の『労働新聞』には、金正恩総書記が専用機に乗り、大同江畔に建設中の未来科学者通りを俯瞰したという記事が掲載された。

前年5月、金策(キムチェク)工業総合大学の教育者住宅が建てられている大同江畔の道路を軸とする住宅や各種のサービス施設を大々的に建設して一つの市街を立ち上げようとの案を示し、市街の名称を「未来科学者通り」と決めていた金正恩総書記は、その建設状況を上空から確かめるべく、専用機に乗って建設現場を視察したのであった。

その頃、建設現場では高層マンションや公共建築の骨組みが競って進められていた。

未来科学者通りは、2015年10月10日の朝鮮労働党創立70周年記念日を迎えて立派に完成した。

まっすぐに伸びるすがすがしい街路を見下ろしながら競い立つ超高層・高層マンション群や公共建築、各種の便益サービス施設、憩いの場やスポーツ・運動公園などすべての施設が目にまばゆいばかりである。

建物の外壁はさまざまのカラータイルで仕上げられ、屋根の形



式もそれぞれユニークな様相を持つ数千世帯分の超高層マンションや東式高層マンションが大同江畔の街路に沿い互いに見事な調和をなして並び立っている。

未来科学者通りを象徴している53階建てマンションは、遠くから眺めてもこの市街が科学者の住宅区だということが分かるように、螺旋状の電子トラックをかたどっており、屋上には宇宙を象徴するタワーが設けられている。

この建物ばかりでなく、未来科学者通りの建物はどれもが科学者通りの名にふさわしい形態を取っている。

未来科学者通りには、理髪所、美容院、クリーニング店、衣服の修理所、履物の修理所、浴場、薬局のような便益サービス施設や図書館などの文化機関も程よく配されている。

この通りには公園が立派に造成され、園林・緑化も手落ちなくなされているので、早朝は運動をする人たちで賑わい、夕方になると散歩をする人たちが多い。

未来科学者通りの住人は科学者、教員、研究士たちである。







黎明通り

2016年3月、金正恩総書記は新たに建設される黎明通りの模型と形成案、鳥瞰図、住宅及び公共建築の新築・改築設計案などが展示されている金日成総合大学前の道路へやってきた。

総書記は、今日われわれは世界に向けて、今一つの新市街の建設を宣言することになるとし、錦繡山太陽宮殿と龍南山の方に目をこらして、朝日が昇るあの龍南山から革命の黎明が明け染める



という意味でもそうだし、今回の建設を通して未来の建築を志向するという意味でも、新市街の名称を「黎明通り」とすればよいだろうと言った。

黎明通りの建設は、数十ヘクタールの広大な土地に数千世帯分の超高層・高層・多層マンション、託児所、幼稚園その他の公共建築を立ち上げ、さらに数十棟のアパートと公共建築を改造し、それも1



年内にやり遂げなければならないという膨大な計画であった。

朝鮮労働党の戦闘的アピールに呼応した建設者たちは、昼夜を分かたぬ突貫作業をもって2カ月足らずで元来の市街のほとんどをきれいに取り払い、その跡に新建築の骨組み工事を推し進めた。その中で、最も巨大な70階建て超高層マンショ







ンの骨組みは74日目に完了した。

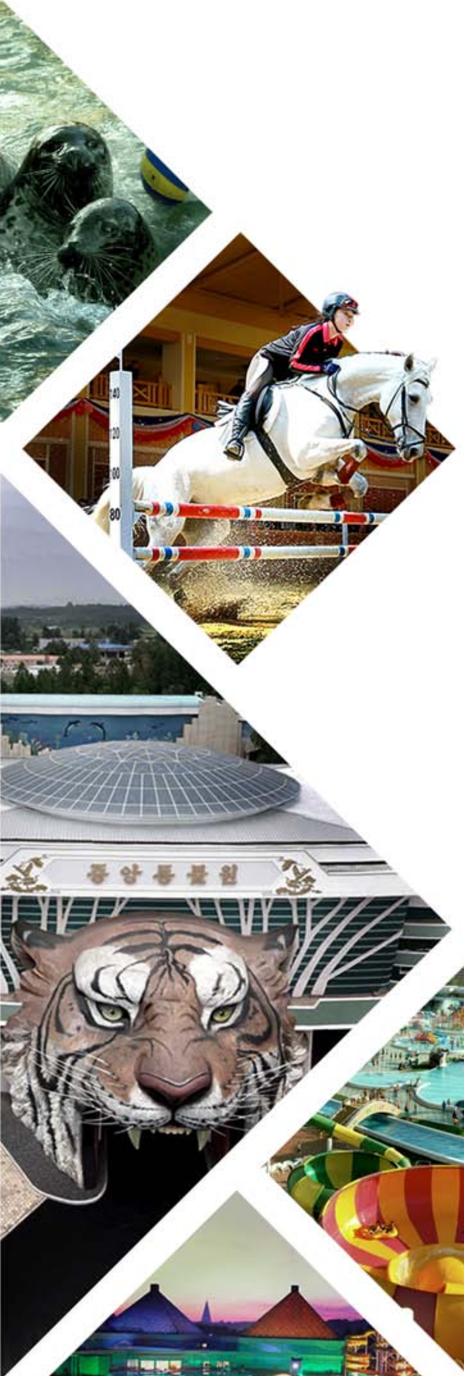
2017年4月黎明通りの建設は立派に完成し、盛大な落成式には、建設者や平壌市民をはじめ大勢の外国人が参加した。

黎明通りは、瀟洒な多層アパート地区と壮大華麗な高層・超高

層マンション地区が有機的に結び付き、便益サービス施設がそれらに調和して随所に配され、造形化、芸術化、グリーン化が高いレベルでなされている。零エネ・グリーン建築術が採用されて、すべての公共建築と住宅は日光と地熱など自然エネルギーを効果的に利用できるようにされており、また屋根と壁面の緑化術も導入されて、省エネ市街、グリーン市街としての面目を見栄えよく備えている。

先端科学技術と生態環境保護技術が立派に結び付き、市街の樹林化・公園化がユニークになされ、児童パーク、バレーボールコート、バドミントンコート、ローラースケート場なども備わっている。

黎明通りの不夜城をなす夜景は壮観そのものである。



2.

文化・情操生活の場

2010年代、平壌には数々の文化・情操生活の場が造成された。

不夜城さながらの凱旋（ケソン）青年公園遊戯場、朗らかな笑い声の絶えない中央動物園、大同江上の綾羅人民遊園地、人々の驚嘆を呼ぶ紋繍遊泳場などなど、市民の喜びと幸せを象徴する憩いの場が市内の随所に新たに出現したことも特筆に値する。





凱旋青年公園遊戯場

平壌の景勝牡丹（モラン）峰のふもとに、きわだって異彩を放つ遊戯場がある。

すぐれた造りの遊戯施設、煌々たるイルミネーションにより、平壌の夜景を一段と美しく彩るこの遊戯場が、その名も高い凱旋青年公園遊戯場である。

ここには、天を突かんば





かりに高々とそびえ立つ急降下タワーや見る人たちまではらはらさせるスーパーチェア、自由落下しているのではと目を疑わせる3重回転盤、その他さまざまの遊戯施設がある。頂角240度の円錐形をなし中空に大きな円を描いて回るスーパーチェアは、乗る人には目まいをさせ、見る人には乗り手が振り落とされるのではと手に汗を握るほどの遊戯具でありながらも、人気は最も高い。

　急降下タワーは評判の高い遊戯具でありながらも、いったんそれに乗って落下を始めると、あっ、墜落か、と震え上がってはすぐに落ち着きを取り戻して、急降下の快感にひたることになる。それは40メートルもの高所から秒速15メートルで空中を急降下する時に味わうまたとない快感であり、他方、下から見上げる人た






ちの笑いさざめく表情も印象的である。

　この遊戯場内の電子娯楽館には、クレー射撃、自動車及びオートバイレース娯楽など十数種の電子娯楽設備があり、連日大勢の青少年たちで賑わっている。

　遊戯場内にあるパン屋やミルサム（水に溶いた小麦粉の薄焼きに種々の具を包んだ料理）を売る屋台では、ハンバーガー、ミネラルウォーター、その他各種の飲み物をサービスしている。

中央動物園

平壌大城(テソン)山のふもとに広大な中央動物園がある。

国内の動物はもとより、世界の諸大陸各地域に生息する数百種の獣類、鳥類、魚類を集めて人々に生物学的知識を与える教育の場、楽しい憩いの場として立派に造成されたこの動物園には、朝鮮労働党と国家の人民愛の世界が広がっている。

中央動物園は開園以来数十年の間、金日成主席と金正日(キムジョンイル)国防委員長の数十回にわたる現地指導を得て、年々変貌を続け、平壌市民はもとより、首都を訪れる地方の人たちにも笑いと喜びを与え、ひいては動物に関する広い知識を提供する、憩いの場・教育の場として大きく役立ってきた。

金正日国防委員長は生を終えた最後の年2011年にも2度もここ



を訪れて懇切な指導を行っている。

金正恩総書記はたびたび中央動物園を訪れ、数十種百余匹の珍しい動物を動物園に贈っている。

2012年5月は中央動物園を訪ねて長時間各動物舎を一つひとつ丹念に見て回り、動物それぞれの生物学的特性によりよく見合うよう動物園を全面的に作り直す必要があると指摘した。

この指摘を得て直ちに中央動物園の改築工事が短期間で進められ、人民のよりよい憩いの場、教育の場に様変わりした。

虎の頭をかたどったユニークな造りの本館の入り口を抜けて構内に入ると、正門内側の中心部に2800平方メートルほどの池があるが、これはチョウザメの棲み池である。池の中央を縦と横の十字につないだ足場がガラス張りの歩道、それに池の中の岩の裂け目から流れ落ちる滝や岸に沿って植えられたしだれ柳などを眺めていると、伝説の武陵桃源に入り込んだような思いになる。

動物園には、水族館、爬虫館、鳥類館、猛獣舎、象舎、キリン舎、ペンギン舎をはじめ動物館・舎が数十に達している。

総面積が100ヘクタールを越えるこの動物園には、キンパラのような小鳥や魚類から熊、犀、象のような大型の動物に至るまで、世界5大陸の数々の珍







しい動物が飼われている。

動物舎は外観だけでなく、内部もそれぞれの動物の元来の環境に似せて整えられている。

水族館には、遠くの朝鮮西海から引かれたパイプを通して海水が流れ込むので、海水不足という不便は一切生じていない。

建物の正面の壁面に青色のタイルを張り、そこにいろいろの形や色のタイル片で海中を遊泳しているイルカやその他の魚類を描いたモザイク形式の建物装飾は、そのすがすがしさにより、見物人の視線を引きつけている。

頭をぐいと上げた亀をかたどった爬虫館は、遠くから眺めただけでも、その中に亀がいると誰もが気づくような造りである。内





部の通路は、見物に便利なように環状をなしており、それぞれの名札には、各爬虫の分布地域が示されていて、知識を広めるようになっている。

ここには、30種近くの百数台もの機械が据え付けられていて、それぞれの区域に必要な温湿度を保ち、また10万立方メートルの新鮮な空気を入れ換えている。

爬虫館は円筒形の建物で、屋根はボールトラスにガラスをはめて仕上げられているので、内部は日中の外のように明るく、それに温室効果を利用していろいろの植物が植えられている。館内の半砂漠及び熱帯草原区域には、それぞれいろいろなサボテンやバナナの木が育っている。

猿の野外遊び場では、おじいさん猿や母親猿、それに子猿たちが一つの家族でもあるかのように楽しく遊びたわむれている。



4頭のキリンがいるキリン舎の向こう側に、高さ25メートル、直径41.5メートルものほぼ半球形に近い、草色ガラス張りの鳥類館があり、そこにはサーカス劇場よりはるかに巨大な鳥籠式の鳴禽舎と猛禽舎がある。

虎舎には、朝鮮虎、白虎、ベンガル虎それに白ライオン、インドライオンなど猫科の猛獣が鉄の格子で仕切られた10余の広い床に別々に入れられているが、





それぞれの前壁は透明な強化ガラス製なので、すべての猛獣の動きをはっきり観察できる。

動物園内には小型の円形劇場さながらの動物芸の見せ場、オットセイの遊び場もあり、他にも見物人のための休息場がところどころに設けられてある。

動物園内の建物はどれもがそれぞれにユニークな形態をなして見物人たちに深い印象を与えている。

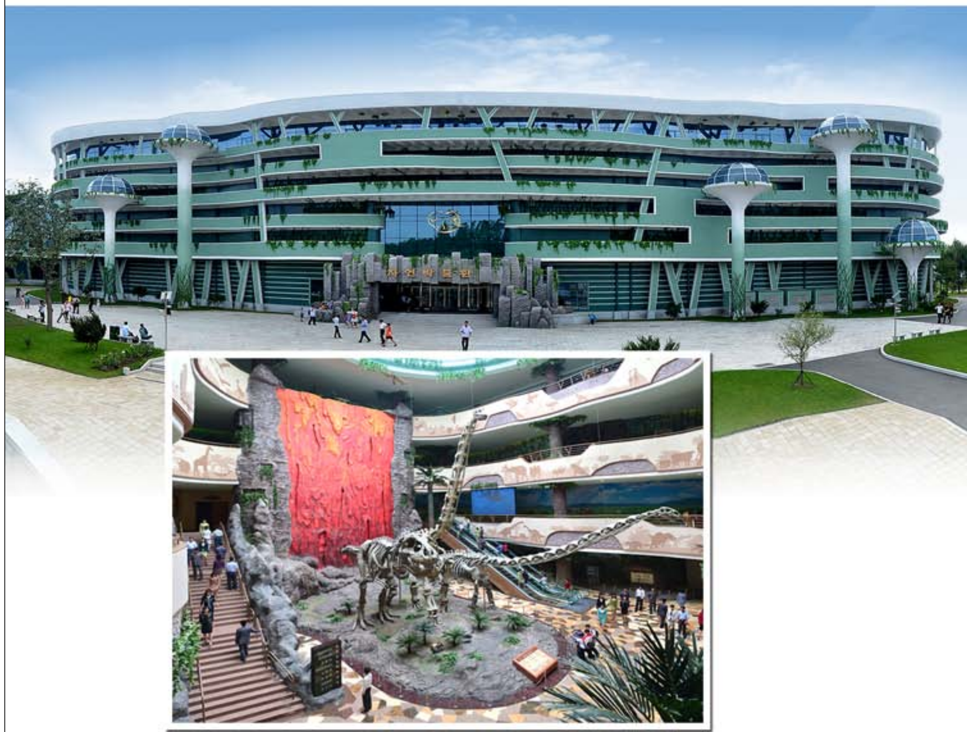
自然博物館

平壌の景勝大城山のふもとに、金正恩総書記の遠大な構想と精力的な指導の下、広大な自然博物館が立ち上げられた。

延べ建築面積3万5000余平方メートルのこの自然博物館には、青少年学生や勤労者たちに、宇宙と地球の歴史、生命の起源、動植物などについての総合的な知識を提供する幾つもの展示館が備わっている。

それぞれの特徴を持つ展示館では、解説員や学術研究者の案内を受けることができ、各ホールの展示品を観察しながら種々の自然現象や動植物の特徴など多面的な知識を習得できるようになっている。

中央ホールには地質の歴史が分かりやすく展示されており、その他



以前は幻の動物と見なされていた中生代の恐竜のうちの代表的な3頭の恐竜の骨格を中央に配し、その周囲に、中生代の環境とその中で生きた恐竜の姿をパノラマと模型をもって生き生きと描き出している。

500余平方メートルの面積を持つ宇宙館の内部は、「宇宙の進化」、「太陽系」、「天文現象」、「天体観覧室」など4区域があり、それぞれ宇宙の進化、太陽系の形成、太陽が地球に及ぼす影響、時間と日、季節の変化、星座探しなどに関する展示がなされている。

古生物館では、地球環境の変化と生命の進化過程を総合的に理解で







きるようになっている。

古生物総合ホールには、金日成主席と金正日国防委員長、金正恩総書記に世界各国の人士から贈られた動物の化石を写真に撮って展示してある。そこでは地球が生まれて現在に至るまでの46億年間の地質時代の区分とそれぞれの地質時代の代表的な生物についての解説がなされている。

中生代区画では、中生代の多用な生物相を見せ、そこで恐竜の隆盛と死滅、鳥類の出現、初大陸の形成と分裂、中生代末における生物の大量死滅という出来事などについて、当該地質時代との相互関係と結び付けて理解しうるようになっている。中生代区画には中生代ホール、恐竜パーク、中生代の海、中生代の代表的化石のホールがある。

新生代区画には、新生代の多用な生物相を見せるパノラマと図板、化石と模型、マルチメディア編集物などを通して、人類の起源と進化に関する内容をそれぞれの地質時代との相互関係の中で解説している。

動物館では、地球上の動物の種類と生態、分布、保護などに関する幅広くも深い知識が提供されている。

動物分類区画では、進化のレベルの上から無脊椎動物と脊椎動物に区分し、動物の集団別特徴とその代表種、進化段階についての幅広い解説がなされている。

動物と人間生活区画では、動物と人間の生活がいかに密接に関係づけられているかが剥製の標本と製品、図板などをもって示されている。

動物多様性保護区域には、人間の活動による動物の種の保護及び死滅の原因を示す展示品やパノラマがある。

藻類ホールでは、水中で光合成によって生きる藻類についての説明がなされている。







ここには海中に生きる海藻と淡水藻が別々に展示されている。

植物館には、地球上に分布しているさまざまの植物群、キノコ、地衣類のうちの代表的な種の形態と構造、分類と分布、生態、植物多様性の保護・利用についての知識が幅広くも深く与えられている。

ゼニゴケ類・シダ類ホールには、朝鮮をはじめ世界の各地に分布しているゼニゴケ類とシダ類の代表種がその進化の順序に従って、模型と写真により展示されている。

裸子植物ホールには、朝鮮及び世界各地に分布している代表的な裸子植物とその生殖器官の実物と写真、模型などが展示されている。

被子植物ホールには、金日成花と金正日花、朝鮮の国花モンラン（オオヤマレンゲ）をはじめ主要な被子植物の代表種の実物と模型、写真、図板などが展示されている。

白頭（ペクトゥ）山一帯の森林・五佳（オガ）山原始林ホールには、両森林の植物分布の特性が直観的に理解できるように展示されている。





植物の保護・湿地及び砂漠植物ホールでは、植物の保護に関する知識及び湿地と砂漠の代表的な植物が展示されている。

植物と人間生活ホールには、人々の暮らしに広く利用されている木材及び繊維植物、油脂植物、薬用植物、香料植物をはじめさまざまの分野の代表種やその製品が展示されている。

キノコ・地衣類ホールには、朝鮮に生きているキノコと地衣類のうちの代表的かつ特異なものが展示されている。

自然博物館には以上の他にも、マルチメディア編集物鑑賞ホール、学術セミナールーム、面談室、展示場などがあり、参観者向けの清涼飲料店や記念品売り場もある。

綾羅人民遊園地

平壌市を貫流する大同江上には秀麗な中洲綾羅島が浮かんでいる。

面積約1.3平方キロメートル、周6キロメートル、長さ2.7キロメートル、最大幅0.5キロメートルほどで、北東—南西方向に長

く伸びている。島の西側の対岸には大同江を見下ろしながら平壌の名勝牡丹峰が走り、東側の岸の向こうには高層住宅が群れをなして広がる市街紋繍通りがある。

古くからこの中洲は、大同江の流れに枝を垂らしているしだれ柳の様子があたかも玉のように明るく澄んだ水上に美しい絹布を浮かべているかのような趣だとして、その名を綾羅島と呼ぶようになった。









綾羅遊泳場

金日成主席は1965年4月、この島に植樹をし、綾羅島を人民の遊園地に作り上げようという遠大な構想を示した。綾羅島の開発はこうして開始されたのである。

1980年代の末には、ここに15万の観覧席を持つメーデースタジアムと、大同江の両岸に渡された綾羅橋が構築され、今では綾羅遊泳場、綾羅遊戯場、さらに綾羅イルカ館が立派に建設された。

綾羅遊泳場の広い水槽の壁と床は青色のタイルで仕上げられて人々にさわやかな感じを与えており、そこに白色のタイルを張ったV字型の飛込み台が設けられている。その水路は4通りで、最長の水路は127メートルである。遊泳場には高さ17.6メートルの滑り台、「滝浴び」場、砂場、バレーボールコート、バ



スケットボールコート、ビーチバレーコートなどがある。

綾羅人民遊園地には、神秘な海の世界を見せるイルカ館がある。

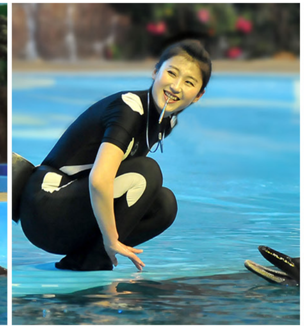
1400余の観覧席を備えたイルカ館には、8匹以上のイルカが海水の揺れる公演水槽の中でさまざまの芸を見せて観客を喜ばせ、拍手喝采を浴びている。

公演水槽には水中音響設備と水中照明設備、水中撮影機が設けられており、舞台の壁にはLED顕示板が設置されているので、観客はイルカが水中から水面上に飛び上がる様子や水中の動きも見ることができる。

2階の自然洞窟式科学技術普及室には、壁面に複数のテレビが取り付けられ、そこで多種多様な魚類の活動状況や海中の景色









綾羅イルカ館

を写し出している。

綾羅人民遊園地には、人々を喜ばせ楽しませる遊戯場もある。

各種の遊戯・娯楽施設とサービス施設を持つこの遊戯場は、二つの区域からなり、電子娯楽館や綾羅島の自然にふさわしいミニゴルフ場もある。そのどちらも勤労者のしばしの休息に適した遊戯場だと言えよう。

島の日中の風致も素晴らしいが、夜はあかあかと輝く遊戯場のイルミネーションに照らされて、綾羅島は美しい光明の島、朗らかな笑いの島になるのである。

金正恩総書記は、綾羅人民遊園地の建設現場を2012年の1年間に数回も現地指導して、綾羅島を人民のすぐれた憩いの場として完成するようはからった。







統一通り運動センター

2012年5月初め、金正恩総書記は平壌市統一通りに建設中のある対象を訪れて、それを勤労者向けの体力鍛練及び治療運動を専らとする大衆運動センターとして完成するよう指示した。

こうして、この区域に統一通り運動センターが出現したのである。

延べ建築面積1万3749平方メートルのこの運動センターには、数十種の治療・運動器材が備わっている。

健康運動室とリハビリ室で人々は、その好みと体質、年齢、健康状態に応じてランニング器材、サイクリング器材、脚力鍛練器材、腕力鍛練器材、その他さまざまの運動器材を用いて、各自が体力を鍛え、あるいは治療運動を行っている。





ここには女性用の万能マッサージ器をはじめ女性、老人、機能障害者のための運動器材、それに運動後の疲労をいやすための物理治療器材その他の治療設備やマッサージ設備も備わっており、利用者の身体の状況と健康状態を確かめ、それぞれに見合った運動治療法と運動強度、回数及び周期などについての助言を行う相談室もあって客に喜ばれている。

当運動センターに備わっている胸筋発達運動器材その他一部の治療器材は、50歳を越えた老人や事務員たちに少なからず見られる頚椎症や神経痛、消化障害その他の疾病の治療に広く利用されている。

柳京院

昔から柳が多いとして柳京とも呼ばれている平壌市を貫流する大同江畔に、2012年11月、柳京院という名の総合ヘルスセンターが立ち上げられた。

大同江の秀麗な風景に合わせて、さわやかな波状の屋根を持つ柳京院の内部の床と壁は、落ち着いた淡い色合いのタイルで装飾され、柱と柱の間の空間も芸術的雰囲気がかもされるように処理されている１階のホールから始まる建物の各要素には、すっきりとして清潔ながらも華麗な洗練された建築美がそこはかとなく漂っている。

地下1階、地上4階からなる柳京院は、大衆浴場、個人及び家族浴室などの他に、治療運動室、理髪室、美容室、娯楽室、食堂、清涼飲料店、地下駐車場を備えており、日に7000余名の客を受け



















入れる能力を持っている。複数の大衆浴場のいずれにも「滝浴び」場があり、浴槽の形はさまざまであり、それらには超音波施設が具備され、それぞれ湯の温度を異にしている。

浴場以外にサウナや冷浴室などもあって客に喜ばれている。

柳京院のその他の諸サービス施設も至れり尽くせりの応対で客の満足感を呼び起こしている。

柳京院の建設当時、金正恩総書記は3度にわたり現地指導を行い、やがてここへやって来る客たちがいささかの不便も覚えるようなことがあってはならないとして、完全無欠に仕上げるよう細心の指導を行った。

柳京院は冬期はもとより、年中ここを訪れる市民に最善のサービスを提供している。

四季スケートリンク

柳京院と同じ屋根の下にある人民屋外スケートリンクの延べ建築面積は6469平方メートルである。



内部にあるスケート場の面積は1800平方メートルで、これに付属してスケート貸し出し所、選手の待合室兼休憩室、医療室が備わっている。

この屋外スケートリンクの氷面は急速冷凍と冷凍の維持が十分で、暑い夏のさなかにも解けない。



ローラースケートリンク

アイススケートリンクの隣にユニークな造りのローラースケートリンクがある。

面積1万3300余平方メートルのローラースケートリンクは、日に2000余名を受け入れることができる。基本走路は楕円形で、周は225.6メートル、幅は10メートルである。

投光照明装置が取り付けられているローラースケートリンクは夜間も運営でき、ここにはローラー・ホッケー場や技巧場、スケート貸し出し所、男女別脱衣場、清涼飲料店などのサービス施設が備わっている。

いろんな形の構造物が適当に配されている環状のローラースケート技巧場では、人々がさまざまなローラースケート乗りの技を競っており、それらを見物するのも一興である。



紋繍遊泳場

大同江に沿って広がる東平壌の紋繍地区に多機能遊泳場が建設された。

以前ここにはこぢんまりした遊園地があったが、交通の便がよく広々とした当地帯をより有効に利用すべく、遊園地を取り払って多機能遊泳場を建設し、「紋繍遊泳場」と名づけたのである。

建築面積10万余平方メートルの紋繍遊泳場は、屋外遊泳場、屋内遊泳場、体育館からなっている。

日光の入る屋内遊泳場は2階建てである。

1階には、母子用水槽、児童用水槽、一般用水槽など各種の遊泳水槽、サウナ風呂、シャワー場などがあり、2階には飲食店その他のサービス施設がある。

自然採光システムが取り入れられて、澄んだ青い空が天井をなしているかのような趣の屋内遊泳場は、露天のすがすがしい遊泳









場と別段変わりのない感じを人々に抱かせている。

数多くの白い支柱の上に螺旋状をなして伸びている幾通りものウォータースライダーを外から眺めるだけでは、その素晴らしさは十分に知ることができない。最高のウォータースライダーの頂上から水槽まで滑り落ちる時間は20秒ほどだが、その時に味わう快感は筆舌に尽くせない。

屋内遊泳場には、海水浴場を思わせる波浪水槽もある。

また、各種の水泳器材や運動器材の売店があり、他にシャワー

場と独特な治療効果を持つ9室ものサウナ風呂がある。

サウナ風呂の壁面には2〜3キログラムの塩石があるが、それらは数十種もの微量元素を含んでいる水晶の塩である。これらの水晶塩は室温が高まると表面から粉状の成分が室内に漂い出して人体に付着し、炎症を治癒する効能を持ち、また神経系の病気の治療や疲労の回復にも大きな効果を示す。ここにはこのような塩サウナ風呂が2室ある。

黄土サウナ風呂は、ある一定の温度で遠紫外線と極超短波を出す黄土をベアリングの玉ほどに丸めて焼いたものを床や壁に溜めてあり、肥満症と炎症の治癒に効果がある。このサウナ風呂も2室ある。

天井と壁がクヌギの炭からなるクヌギ炭サウナ風呂や松やにの臭いを放つ森林浴室もあれば、瑪瑙煉瓦の壁を持つ瑪瑙サウナ風呂もある。石英の一種である瑪瑙は、ある一定の温度で極超短波を出





す。この他に氷浴室、新鮮な空気を呼吸しうる酸素浴室もある。

屋外遊泳場でまず目に付くのは、高々とそそり立つ複数の急降下ウォータースライダーである。他にもここには、川と海が重なり合っているかのような錯覚を起こすほどのもの、快速艇の船窓から海を眺めているような快感にひたれるもの、終着点と分岐コースがどこなのか見分けがつかず迷宮へ入り込んでいるのではとひやりとするものなど、さまざまな形と機能を持つ幾つものウォータースライダーがある。

大きさがそれぞれ異なる10余の水槽の一つひとつはそれぞれの特色を誇っている。波を立てて揺れている海のような海水槽、澄んだ水の流れる長さ数百メートルの水槽、それに童話の世界のような児童公園もあり、これもなかなかの見物である。

屋外遊泳場には人造の滝があり、妙香山（ミョヒャン）と金剛山（クムガン）の奇岩や絶壁

をかたどった人造の岩山もあるが、その下方には大きな洞が作られてあり、中にいろんな動物の彫像が置かれている。それらのどれもが驚くほどに生きている本物とそっくりである。

広大な面積に広がる紋繍遊泳場には、さまざまの遊泳施設や水槽があるが、高さが20メートルになんなんとする、見ただけでも目まいがしそうな巨大なものと児童用の単純な造りのもの、勾配の急なものと緩やかなもの、水路の長いものと短いもの、ゴム舟に乗って滑り降りるものと体だけで滑り降りるものなどさまざまな物から構成されている。水槽も水泳水槽、波浪水槽、超音波水槽などと幾通りもあるので、客はそれぞれ好みの滑り台や水槽を選んで遊べるのである。そういうわけで、全ての滑り台で滑り、屋内と屋外の水槽に抜かさず入ってみようとすれば、かなり長い時間をかけるほかない。

遊泳場内の体育館には、バレーボールコート、バスケットボー





ルコート、バドミントンコートの他体力鍛練用のトランポリンやフリークライミング施設がある。運動器材室には脚力の運動、駆け足の運動、背中の運動、腰の運動、片手の運動、両手の運動、亜鈴運動、階段上がり運動、立ち姿勢の運動、引っ張り運動その他の運動器材が用意されている。

屋外にもバスケットボールコート、バドミントンコート、ローラースケートリンクその他の運動場が設けられている。

水泳着のまま遊泳以外のいろんな陸上スポーツが楽しめる多機能遊泳場を見た人は、誰もがその素晴らしさに感嘆を禁じ得ないでいる。

この遊泳場には、売店、簡易食堂、清涼飲料店その他のサービス施設も整っている。

屋内遊泳場の1階と2階の清涼飲料店では、諸種のスナック菓子や清涼飲料, コーヒーを出しており、またビヤホールもあって人々を喜ばせ、パン食堂では数十種ものパンを提供している。

その他、記念品商店、美顔室、按摩室、理髪室、美容室、紫外線治療室が用意されている。

金正恩総書記は、紋繍遊泳場の建設形成案を113回にわたり検討して細心の指導を行い、建設中幾たびとなく現場を訪れて具体的な助言を与えている。



美林乗馬クラブ

平壌市郊外の広い平地に作られた美林乗馬クラブは、乗馬運動とその教育に必要な一切の条件と環境が整っている総合的な大衆乗馬場である。

屋外の馬場は長さが2000メートルの土砂走路と芝走路からなっている。

基本走路の中間に広がる平地には、大型の築山と人造の池、人造の滝や散歩道路がある。

テント造りの休息場内にしつらえたテーブル、椅子その他の器物はいずれも、民族的色彩が濃く、香りのよい松やにの匂いが漂う木材で作られていて、ここで休んでいると、あたかも松林の中でくつろいでいるかのようなさわやかな気分にひたれるのである。



美林乗馬クラブには、乗馬のサービスを提供するための数十の建物が立っている。

丸木で外壁を装飾した乗馬知識普及室では、乗馬の志望者や愛好者たちに馬の習性やその扱い方、乗馬運動の世界的な趨勢などについての広い知識を伝習している。

乗馬サービス所では、乗馬帽、乗馬上衣とズボン、チョッキ、手袋、乗馬靴、足の保護具など、乗馬用衣服の一切を貸し出している。

疲労回復院には、オール運動具、多機能踏運動具、自転車式手足運動具、足板振動具、その他の疲労回復器具を備えた運動室と按摩室、特別仕立ての浴場がある。なかでも特に人気の高い器材は、腰掛け式の全身按摩器である。この按摩器はまるで



数十の目に見えない手をもって、あるいは強く、あるいは柔らかく、またあるいは長く、あるいは簡単にいろいろの衝撃や刺激を全身に加えるが、その醍醐味は到底口では表現できないというのが体験者たちの感想である。この按摩器は、頭と首、背中、腰、腕や足、それに手首や足首、手の平や足の裏などに至るまで、全











身の疲労をいやしてくれる。

クラブは獣医病院と種畜研究所も備えている。建築の形式と内容が遜色のないこれらの建物は本来設計に含まれていなかったが、金正恩総書記の指導を得て建設されたのである。

獣医病院には、レントゲン室、超音波室、手術室、一般治療室、入院室など馬の病気の治療及び蘇生に必要な条件が十分に整っている。病院に送られた馬はまず洗浄室で体を洗い、乾燥室で濡れた体を乾かしてから検診を済ませて治療を受けることになる。一般治療室では血圧と体温が計られ、実験室では血球の検査と生化学検査が行われる。入院室では、備え付けの監視器をもって馬を常時監視する措置が取られている。

種畜研究所には、飼養研究室、装具研究室、品種研究室の他幾つかの陳列室がある。

飼養研究室では、馬の飼養管理の合理的な方法を研究し、まぐさとして利用しうる草のうちどんな草の栄養価が高く、消化に適しているか、それに薬効の高い草にはどんな物があるかなどを研究している。装具研究室では、鞍、手綱、くつわ、あぶみなどの馬具が、騎手や馬の双方により便利なように作るための研究を行っており、品種研究室では、人工受精術の導入による一代雑種を得た経験にのっとって、その研究を深めている。

美林乗馬クラブには大勢の愛好者がやって来て乗馬を楽しんでおり、騎馬レースもしばしば行われている。

金正恩総書記は美林乗馬クラブの建設中、昼夜の別なくしばしば現場を訪れて、建設の方向や方途についてこと細かな指導を行った。

3. ユニークな建造物







この10年間に平壌市には、外形でもまた内容においても、従来のものとは大きく異なる建造物が次々に立ち上げられた。

例えば、朝鮮労働党の人民大衆第一主義政治を具現して、その名も人民という名称を持つ人民劇場、金日成総合大学教育者住宅、外観が原子構造を思わせる科学技術殿堂などが出現して、朝鮮の建築術発展の今後の趨勢を明示している。

人民劇場

平壌には「人民」という呼称を持つ建物が多い。2012年に建てられた人民劇場もそれらと同様の記念碑的建築の一つである。

金日成主席は生前、人民という呼称を持つ建造物をいろいろ建てるようはからい、金正日国防委員長も人民の名で呼ばれる近代的な劇場を建てて後世に残そうと構想し、生涯の最後の年2011年には倉田通りの建設を提唱して、万寿台の丘に劇場を建てるようにし、その名を「人民劇場」と命名した。

こうして、人民劇場は倉田通りと調和をなして、平壌の中心部にユニークな建築スタイルをもって姿を現したのである。

それまでの市内のどの劇場とも趣を異にしている人民劇場の延





べ建築面積は5万余平方メートル、延べ建坪は1万5000余平方メートルである。1500席の円形生音声ホールと500席の地下ホールを持つ人民劇場は、最新式の舞台設備とレッスン室、メーキャップ室、地下駐車場、その他便益サービス施設などを備えており、舞台芸術の創作、公演、観覧に必要な条件が漏れなく整っている。

1500席の円形生音声ホールは通常の劇場形式とは異なり、観客が舞台の前だけでなく、いろいろと違った方向から公演の観覧ができるよう観覧席が配置されており、舞台の上側には複数のLED顕示板が設けられて、俳優と観客の心の触れ合いがより自然な形でなされるようになっている。

また、貝殻模様の天井の装飾や最高に便利な心地よい造りの観覧席、特異な照明効果を持つ白熱灯装飾、特色ある空調システム、さらには劇場のホールや通路に敷かれた花模様入りのカーペットなど劇場の隅々に至るまで不備な点はどこにもない。

500席の地下ホールには総ガラス張りのエレベーターも設けられている。

劇場の完成当初、観覧席の中央に特別席が設けられてあったが、金正恩総書記の指示でそれはなくされ、総書記もここで公演を観覧する際は一般の観覧席に座って公演を見ている。

金日成総合大学教育者住宅

平壌市の龍興(リョンフン)十字路に面した位置に、ツインタワーの超高層マンションが立ち上げられた。金日成総合大学教育者住宅である。

建物中央部の外壁には強化ガラス張りの垂直線を軸にしていろいろのカラータイルが見栄えよく規則的に張り巡らされており、屋根の形式を目新しくして建物の造形美を際立たせている。

金日成総合大学教育者住宅の建設には、大学が有能な科学技術人材をより多く養成し、さらには高度の教育科学的成果を挙げるようにという朝鮮労働党と政府の深い信頼と期待がこもっている。

マンションは44階建て



と36階建てからなり、その内部にはクリーニング店、浴場その他の便益サービス施設があり、外には立派な小公園が設けられてある。各住居の床面積は200平方メートル余りで、部屋数は5室の他台所や物置部屋も備え、廊下もある。住居の居間の出入り口は全て緩やかなアーチ型をなし2本の柱で装飾されている。各住居には上質の家具調度が一式で備わっている。

36階建てマンションの14階と27階、44階建てマンションの17階と30階には、休息場が見栄えよく備えられてある。ここでは将棋盤やユッノリ（双六に似た民俗遊具）その他の娯楽具が準備されてあり、またここで読書もできるようになっている。それにここには野外の公園のように芝生もあれば花壇もある。

このマンションが建てられたのは2013年10月である。

金正恩総書記はマンションの建設中たびたび現場を訪れて、いささかの遜色もなく建てるよう具体的な指導を行い、落成式に際しては建物の内部を改めて見て回り、大学の教育者や研究者たちと並んで記念写真を撮った。

科学技術殿堂

大同江上の中洲スク島は、綾羅島、羊角(ヤンガク)島と並んで平壌の誇りである。

このスク島に、朝鮮労働党の全民科学技術人材化方針にのっとり、朝鮮人民が新世紀の全人民学習の大殿堂と呼び習わしている科学技術殿堂が建てられた。

科学の世界を象徴する巨大な原子構造をかたどって建てられた科学技術殿堂の延べ建築面積は10万6600余平方メートルである。

地熱による冷暖房システムと、日光を最も効果的に利用しうる自然採光や室内照明システムが全面的に実現しているこの殿堂は、総合的な電子図書館としての使命を全うしうるよう、従前に出版された科学技術書はもとより、国内で遂げられた最新科学技



術的成果の諸資料及び世界の国々の先進科学技術資料が全面的、体系的に電子図書化されている。

この殿堂は、10通りの屋内科学技術展示場と野外科学技術展示場を備えて多機能化された先進科学技術の普及センター、社会教育の場である。







殿堂の中心ホールには、地球を蹴って飛び立つ人工衛星運搬ロケットの模型が設置されている。この中心ホールを軸にして円形をなした各階には、科学技術の原理及び方法を深く知りうる数多くの電子閲覧室と、子供の夢の館、科学技術発達史館、先端科学技術館、基礎科学館、応用科学技術館、科学探究館などからなる部門別屋内科学技術展示場があり、ここには利用者が自らじかに扱い、実感し、動かしうる操作型、感知型、可動型の展示品や特色ある種々の閲覧場が備わっている。

殿堂にはその他にも身障者閲覧室、動画閲覧室、新書閲覧ホール、遠隔講義室、科学映画館、学術質疑応答室などがある。

科学技術展示場区域には、人類が遂げた科学技術分野の成果、自然と諸事物の道理、当該部門の科学技術を原理的に習得しうる部門別の科学技術館もある。さらに各階の電子閲覧室とホールには総数千台のコンピュータが具備されている。

また屋外には、未来のエネルギー区域、科学遊戯区域などを持つ野外科学技術展示場と野外学習の場がある。

科学技術殿堂の利用者のための500人の収容能力を持つ宿所もあるが、これも周辺の環境にマッチした高いレベルで建設されている。

科学技術殿堂が多機能化された現代科学技術の普及センター、情報交流の拠点として出現した結果、全国全ての部門や機関はもとより、家庭でも国内のコンピュータネットワークによってリアルタイムで便宜なサービスを受けることができ、必要な科学技術データーの交流も行われうるようになっている。

金正恩総書記は科学技術殿堂の建設を唱導し、建設全般を深い関心を持って指導したばかりでなく、2016年1月1日、科学技術殿堂の落成式に臨席してテープカットを行った。





4.

新しく建設された病院

平壌市の紋繡地区には現代的な病院が幾つも建てられており、その区画は病院村と呼ばれている。



玉流児童病院

2013年10月にオープンした玉流(オンリュ)児童病院は、延べ建築面積3万2800平方メートルの建物で、ここには最新式の医療設備を持つ治療及び処置室、手術室、入院室はもとより、入院中の子供たちの勉強を中断させるべきでないとして設けられた教室があり、他に遊びの場や休息場もある。

プラモデルを積み上げげたかのような感じの6階建ての病院の外観は童心に似合う建築美を呈しており、建物が大通りをはさんで平壌産院と向かい合って立っていることからして、その姿はあたかも母親の胸に抱かれている幼子のような温かい情感と心の安まるような落ち着きを人々に覚えさせる。







病院の中央ホール前面の壁には、青空の下で思う存分遊びたわむれる子供たちの姿を見せるアクリル画『この世に羨むものなし』が描かれている。他の壁にはまた、朝鮮のアニメや世界の名作童話集に見られる1700余の絵が所狭しとばかりに描かれている。

病院内の処々にある遊びの場や休息場には、滑り台その他の遊戯施設や器具が備わっている。

病院の治療室、手術室、検査室、入院室にはすべて先端医療設備が十二分に具備されている。病院の屋上には遠地から運ばれてくる幼い急病患者用のヘリポートもある。

ここで入院生活をする子供たちの場合は、医者に必要なカルテだけでなく、その姓名が病院内教室の出席簿にも記される。入院中学校で受けることのできない学課の勉強をこの教室で行うのである。

入院室には、多機能ベッドが置かれ、小型冷蔵庫やテレビも設けられている。

金正恩総書記は、2013年7月、暴雨の降りしきる中、病院の建設場を現地指導し、同年10月、竣工を前にして病院を訪れ、病院の名称を「玉流児童病院」と命名した。

柳京歯科病院

玉流児童病院に相次いで、柳京歯科病院が立派に建てられた。

建築の造形化と芸術化が高いレベルでなされたこの病院は、世界の先端を行く歯科医療設備を備えている。

各治療室には、患者の治療に支障をきたさないよう歯科総合治療器相互の間に遮蔽幕が張られており、治療環境は衛生文化的かつ情緒的である。

立派に整った歯科外科と歯科内科、歯科レントゲン科、補綴科もさることながら、子供の童心に合わせて作られた児童歯科の壁紙や天井の一風変わった照明灯は、ここを訪れる人々の目を引かずにはおかない。この歯科病院には児童遊び場





もあって、そこにはいろいろな遊具が備わっている。

病院内には、患者用の各種の衛生道具や薬品の売り場もある。

金正恩総書記は、2013年7月、暴雨の降りしきるさなかに病院の建設場を現地指導し、9月には竣工を間近にした病院を再び訪れて運営の準備状況を確かめ、翌年3月には開院して患者の治療を行っている病院の運営状況を視察した。

柳京眼科総合病院

2016年10月、紋繍地区の病院村に柳京眼科総合病院が建てられて開院した。

この病院は4階建ての外来患者用病棟と8階建ての入院室病棟、各種のめがねを来客の視力に合わせて製作もして売る売店まで備えた眼科の総合病院である。

外来患者用病棟の正面上の壁面は人間の目をかたどって仕上げ、入院室病棟の外壁に視力検査表の模様を付けることで、それらを見ただけでもここは眼科の専門病院だということが分かるようになっている。

柳京眼科総合病院の検査室と入院室は、実用性と便利性が極め





て高いレベルで運営されている。

この病院は省エネ型建築、グリーン建築で、地熱による冷暖房システムが採用され、太陽電池が備え付けられており、屋上には入院患者のための休息用庭園も設けられている。

めがねの売り場には、各種のめがねとパーツ、光学器材が陳列されており、視力検査室、矯正室、めがねの加工室も手落ちなく整っている。

金正恩総書記は柳京眼科総合病院の建設に深い関心を寄せ、その建設中や竣工を間近にした時に建設場を現地指導している。













5. 少年少女のための建造物

平壌市には、後代にまで長く残される少年少女のためのすぐれた複数の建造物がある。それは、少年少女たちの課外教育用に建設された万景台学生少年宮殿、親のいない幼児を育てる育児院と愛育院、同じくみなし子のための初等学院と中等学院などである。



万景台学生少年宮殿

万景台学生少年宮殿は、朝鮮労働党と政府がその建設に最高の関心を払い、最上級の建設資材と設備を投じて一点の疵もなく立派に建てた、少年少女のための課外教育の場である。

1989年に建てられた万景台学生少年宮殿は、2015年、新世紀にふさわしく記念碑的な建造物として建て直された。



この学生少年宮殿はコンピュータ・サークル室と物理サークル室などがある科学棟と、刺繍サークル室、書道サークル室、伽倻琴サークル室、アコーデオンサークル室、声楽サークル室、民族器楽総合練習場、電子楽団総合練習場などを持つ芸能棟をはじめ劇場、体育館、水泳館、寮など教育と生活に必要な一切の条件と環境が高いレベルで整っている。

人造石で壁を塗った従来の外壁

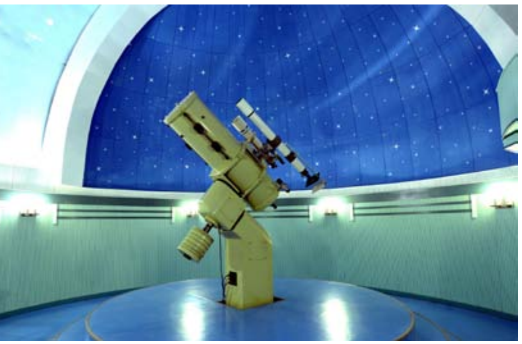












を作り直す際、人造石をすっかり取り除いて、7万7000平方メートルもの天然花崗岩を張り巡らすことで、学生少年宮殿の風格と雄壮感を一段と高めた。

宮殿の内部も目を見張らさんばかりに麗々しく改装された。

なかでも宮殿の劇場は、国の王様とされている少年少女たちのためのものであるとして、専門の芸術団も羨ましがるほど立派に改装された。

宮殿の科学ホールには、朝鮮地図の大型模型と地球を蹴って飛び立つ人工衛星運搬ロケットの模型を設け、天井は夜空に流れる天の川の模様で装飾されている。

芸能ホールも少年少女の心理に合わせ、さらにはサークル員たちが休息



もし、技量の発表会もできるよう立派に作り直されている。

宮殿の水泳場は、国際競技も支障なく行えるよう、屋根を以前のものより高くして建て直された。

図書館と電子遊戯娯楽館、天文知識普及室、贈呈動物標本館をはじめ多様な大衆活動の場もそれぞれ立派に作り直されており、野外には自動車の運転実習場も設けられた。

金正恩総書記は、宮殿の改築と関連して180余度もの指示を行い、250件の形成図案を検討して適切な助言を行うなど、最高のレベルで宮殿を改築するよう尽力した。

平壌育児院と愛育院

親のいない幼児たちが他の幼児たち以上の幸せな生活に恵まれるようにとして、朝鮮労働党と政府は風景の秀麗な大同江畔に育児院と愛育院を新築する措置を講じた。

この隣り合って立つ建物はユニークな建築美と、内庭や公園、周辺の緑の風景が溶け合っていて、童話世界のパラダイスを思わせている。

わずか数カ月で建てられた平壌育児院と愛育院の外部はもとより、内部の家具・設備その他幼児のしつけと生活に欠かせない一切のものが漏れなくしつらえられている。ここには厨房設備の完備した食堂は言うまでもなく、こざっぱりした内庭、屋内の水遊び場、砂遊び場、シャワー付きの屋外水遊び場、それに病院まで付属して幼児の保育・保養、しつけに必要なすべての条件が整っている。



平壌育児院



平壌愛育院

特に内庭は風雅な造りで、しかも外へ出なくても日光浴やそよ風を楽しめるように工夫されている。

幼稚園に相当する愛育院の外形も立派であるが、玄関の中へ入ると、天井や内壁が幼児たちの童心に合わせて、月や星、花、童話の絵などで装飾されていて、あたかも童話の世界に立ち入ったかのような思いをさせられる。









屋内の遊戯室、寝室、洗面場、食堂、屋内水遊び場、屋外水遊び場、運動場、それに理髪室や治療病棟なども全て立派な造りである。どの部屋にもそれぞれに応じた家具や運動器材、玩具がきちんと備わっており、それに四季別の衣服や履物、生活用品、学用品なども準備されている。

2014年10月、竣工なった育児院と愛育院を視察した金正恩総書記は、平壌育児院と愛育院は実に素晴らしいとして大きな満足を表し、その後幾度となく平壌育児院と愛育院を訪ねて、貴重な時間を幼児たちと一緒に過ごした。

平壌中等学院

平壌育児院と愛育院について、教育の環境と生活条件が最上のレベルで造成された平壌中等学院が新築された。

この中等学院の教育環境のレベルは、国内の学校教育環境の中では異彩を放つほど最も標準化された高さを誇っている。

当学院は数十を数える教室と実験室、実習室を持つ校舎とプールや諸種のコートを持つ体育館、寮、管理者用建物、補助建物などからなっている。







全ての教室が多機能化・情報化されており、使用に便利な各種の教具と備品を完備している。

化学実験室、物理実験室、音楽・舞踊室、裁縫実習室、料理実習室、基礎技術実習室など全ての実験・実習室は生徒たちがそれぞれの才能を心行くまで伸ばしうるよう、高いレベルで準備されている。廊下の壁は、数学、物理、化学、生物、外国語などの教科の内容に関する直観物をはじめ、生徒たちの教育としつけに必要な多様な視覚教材が掲示されている。

それに雨や雪の降る時も建物の間を濡れずに行き来できるよ

う、校舎と寮、体育館は外廊でつながれている。

屋内のプールとバスケットボールやバレーボールその他の諸競技ができる体育館、誰もがホテルのようだとして感嘆する寮の部屋や広々とした食事室も素晴らしいの一語に尽きる。

2016年7月、新築なった平壌中等学院を視察した金正恩総書記は、生徒たちを国の有能な働き手に育成できるかどうかは学院の幹部や教員の努力いかんに大きく関わっている、幹部や教員は一点の汚れもない良心と道義を持って生徒たちの教育にわが全てを傾注しなければならないと強調した。

平壌初等学院

2017年2月、平壌中等学院と塀を隔てて平壌初等学院が立派に建設された。

この新しい初等学院を視察した金正恩総書記は、われわれは初等学院の全ての子供たちを立派に教育して、将来彼らの中からすぐれた人材が輩出するようにしなければならない、人材は天から







自ずと降ってくるものではない、われわれは当学院の全ての子供を未来の主人公、革命のすぐれた働き手に育て上げて、祖国の将来を彼らに任せなければならないと強調した。

校舎、寮、屋外体育場からなる平壌初等学院は、一般基礎知識と体育及び芸能教育を十分に行いうるよう、子供たちの童心に合わせて興味深い形式をもって建設されている。

教室には初等教育機関の特性を考慮した多機能化・情報化が導入されている。

廊下には、童話的でありながらも直観性、科学性、生々しさの際立ったいろいろな絵が貼られていて、校舎内のすべての空間が知識の泉、常識の泉となっている。

寝室、食事室、理髪室、治療室を持つ寮は、子供たちの童心に合わせて生活に不自由のないように作られている。

金正恩時代の平壌

編　集：卓成日、張香玉

翻　訳：金時習、金正蓮、許京準

発　行：朝鮮民主主義人民共和国
外国文出版社

発行日：チュチェ111(2022)年8月

E-mail: flph@star-co.net.kp
http://www.korean-books.com.kp



ISBN 978-9946-0-2144-7